

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200759		
法人名	有限会社 花音		
事業所名	グループホーム 花音(Aユニット)		
所在地	静岡県静岡市葵区水道町126-1		
自己評価作成日	平成28年10月18日	評価結果市町村受理日	平成28年12月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年11月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の日課の運動を欠かさず無理なく取り入れ、認知症の進行、運動機能低下を防ぐ支援を家族的立場から見守り支援し、過ごしやすい生活環境であり、外部より出入りしやすく明るく丁寧な職員、施設であることを強調しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1階に2ユニットが並ぶ開放的な造りの事業所です。午前・午後とおこなう体操では事業所前の駐車場を取組むこともあって、壮健さが滲みます。整理・整頓、清潔さと換気が行き渡り、過ごしやすく、「此処はこれでいいかな」「あそこに移動したほうが使い易い」という試行錯誤があったと想像される配置がみられます。リスクマネジメントに努め、例えば前回上部に置いてあった物品は一掃しており、また配役ボックスを手作りして管理者が日付を手書き作業し、錠剤が不用意に落ちないように両面テープで留めての誤薬予防も丁寧に取組んでいます。昨年度の外部評価での課題はほぼ解決し、向上意欲のある事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は施設の理念を理解していますが、前回指摘の「どこを目指しているのか」の問いには会社の就労環境改善、方向性が見えない為、「こうしたい、こうありたい」と目標設定ができないでいます。	文言が長いことも進行を妨げているのかも知れませんが、理念推進に迷いが管理者自身にあることが課題です。理念のなかにある「快適」についてはエアコンの上部に埃ひとつない共用空間で、職員の朗らかな笑顔と声かけがあり、実践を確認しました。	理念を職員間で話し合い噛み砕くことで、月間、年間の行動目標が作成されることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	シニアサポーター発足からイベント時に芸等を披露して頂けるボランティアの方が増え、外部との交流が多くなっています。	大きな店舗や事務所はあっても隣近所に住宅が少なく、地域とのかかわりの進展は難しい立地にあります。町内会では気にかけてくれていて、ゴミ置き場が事業所専用に変更しています。事業所ではボランティア訪問を増やすことに力を入れたいと考え、現在思案中です。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	シニアサポーターや地域の方の来所を通じて事業所の実践を伝え認知症の理解を得ています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内との連携も含め、打診をしていますが、出席頂くまでにはご理解が得られない状況が続いています。	運営推進会議ではヒヤリはつと及び事故報告が毎回おこなわれ、職員がきめ細かに観察できていることをアピールできています。管理者が都度参加しやすい日程を確認しているため、概ね3名程度と家族の参加率は高く、回ごとに顔ぶれも変わっています。	町内会長は多忙で欠席が続いているため、案内とともに前回の議事録を届け、情報を共有することを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の議事録を提出して、ケアサービスの取り組みを伝えています。	地域包括支援センターからは毎回運営推進会議に参加があり、市役所は年1回ですが「利用者目線の楽しみを企画していてよい」と明瞭に励まし、評価くださっていることを書面確認しました。介護相談員の訪問も毎月あります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束しないケアに取り組んでいますが、必要に応じ書面を作成し家族に同意をえています。一時性を重視して継続しないように考えています。	本人を護るために、安全第一としてミトンと柵が導入されていますが、医師の意見も加えて一時性・代替性・切迫性の書面も整え、例えばミトンについては家族や職員が代わるがわる手製のものを試しての「外し」へのチャレンジもあり、本件を通じて職員はたくさんのことを学んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設では利用者様の尊厳を大切にすることをモットーに徹底した介護をしています。職員間で切磋琢磨してスキルアップを目指し、利用者様と信頼関係をより深める努力をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部講習の機会が少なく、職員のスキルアップの為に勉強できる環境作りの努力が必要と考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を通して必要な説明を丁寧に行い、ご理解頂けるように心がけています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には毎回同じにならず出席して頂いている、都度意見があり運営に反映させて頂いています。	「名前がわからない」の要望には職員其々がアイデアを凝らして、エプロンに縫い付けたり、介護の邪魔にならない箇所に安全ピンで取り付けています。運営推進会議は1回3名、年6回を以てほぼ全員の出席を得ています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見や提案が迅速に反映されない為、発言が消極的になっています。	月1回カンファレンスを含むミーティングが設けられ、2時間予定ですが熱を帯び1時間オーバーとなることもあります。「ミーティング費」として報酬もでています。万遍なく意見が集まるよう、管理者は普段から何気ない場面でも声をかけています。	管理者が夜勤に入る、代表者が夜間滞在することで、フラットに話ができることへの検討も期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績の判断としての評価基準がないので定期的に面談等の希望がありますが、実行はされていません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員に対して定期的面談やメンタルケアの必要性があると考えます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近況では同業者との交流の機会がなく、職員間ではネットワーク作りの希望、必要性と考えています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困り事、不安を取り除く対応、対策を考え、初期より導入することにより信頼関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等の困り事、不安を取り除く対応、対策を考え、初期より導入することにより信頼関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の面談から必要支援に気づき、対応に努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常にコミュニケーションをとり一方的立場にならないように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族は共に情報共有し、より良い関係作りに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との関係が途切れないよう、面会時の対応には気配りをかかさないう努めています。	「よく会話もてるよう食事の時間以外で」とお願いしていますが、9時～17時の日中面会は自由に入入りしてもらっています。80代の姉妹がスーパーカーで往復20*の道のりを駆使しての来所のほか、家族が受診時に食事に誘ってくれたり、墓参りも連れだっでかけています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で共通できる会話やゲームを通して全員が参加できる環境に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループとしての対応力を伝え、関係性が途絶えず支援できるよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位を常に視野に入れ思いが希望に沿えるよう努めています。	モニタリング前には管理者が割り振る形で職員が取組んでいて、年1、2回は利用者を集中して「観る」「考える」ことができています。今年度は外部講師を招いて認知症研修もおこなわれて、あらためて職員が想いの把握について振り返る機会もありました。	職員1名のモニタリング回数が増えるよう、余裕をもって割り振ることを期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人に関係する馴染の人からの情報を含め、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の一日の生活内容を記録して変化に対応できるよう職員同士で把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員のモニタリングと日々やミーティング時のカンファレンスの内容を反映して介護計画に役立っています。	サービス担当者会議は開催できていませんが、職員のモニタリングをベースに面会の家族から要望を聴取して、介護支援専門員と管理者で集約させて介護計画書にまとめています。訪問マッサージ師にはカンファレンスでの助言をお願いしたことが数回あります。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化(顔色、顔つき、表情、言葉、行動)を見落とさず記録し職員間で共有して実践や介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	普段より状況に応じた対応の多機能化に取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々の地域資源を把握し、豊かな暮らしに活かせるよう支援に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族希望のかかりつけ医との信頼関係を大事にし、納得できる支援をしています。	月1回の訪問診療をおこなう協力医に12名が変更しています。突発的なケースでは職員が付添った受診となりますが、従来のかかりつけ医を継続している利用者は家族がおこなっています。配役ボックスを手作りして、管理者が日付を手書き作業して誤薬を防いでいます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1の訪問看護師には適切な対処ができるように、日々の変化を気づき情報を伝え支援に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医療機関とは常に情報共有して経過、退院後の支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	外部かかりつけ医の利用者でも看取り終末期にむけ施設提携医に変更し家族が安心できる体制支援に努めています、現状は外部受診医では看取りは行わない為、提携につなげていく支援に努めています。	在宅の頃からのかかりつけ医が「看取りはやりません」ということだったため、事業所の協力医に急きょ変更となった例もあり、家族を通じて現在のかかりつけ医の意向確認を済ませています。本年は2名見送り、メンタルに心配のあった職員もいましたが、なんとか乗り越えることができています。	次回には祈りのカンファレンスの開催で気持ちの区切りをつける、ということも検討を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	1～2年1度は消防署に協力をお願いしてAED講習等の訓練を行いスキルアップに努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	水害時の避難対策の構築を緊急措置し訓練により職員による対策を身につけるよう努めています。	年5回、通報や連絡網といった部分訓練、業者指導を受けて水消火器を使った総合訓練を実施し、休日職員にも「訓練にはできるだけ参加して欲しい」ことを伝えています。AED指導など消防署職員からも具体的なアドバイスを受けています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常の支援の中で利用者様が不快感や羞恥心を感じないように声掛けや援助をしています。	記録はイニシャルです。また、氏名の入ったファイルは棚の前に車輪のついた箱を置いたり、布をかけたりと、目隠しが上手にできています。トイレから汚れたものを持ち出すときは新聞紙にくるみ、羞恥心に気遣っています。	面会簿が一括なため来客氏名がオープンですので、あらためてリスク面を振り返ることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が勝手に物事を進めるのではなく、会話を通して利用者様自身で決められるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の状態や希望に応じてレクを行ったり、居室休息をして頂いたりしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の身だしなみや入浴時の着替えなども利用者と一緒に用意出来る様に支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ケイタリングの他、手作り調理を欠かせない様につとめています、食器拭きの片づけのお手伝いなど出来る事をお願いしています。	利用者に関わる時間を増やすことを目的に冷凍のケイタリングを湯煎する頻度が徐々に上がり、現在は9割近くとなっています。味と種類が多様で、冷凍とは思えないメニューを「美味しいね」と言いながら、完食しています。テレビを観てしまっただけで食が進まない人がいるユニットはBGMにしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は個々の体型、運動量を考慮してだししています、水分量は1日1000cc以上を目標に回数を多くして出しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員が付添い口腔内、義歯、舌の汚れを確認しながら清潔保持に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄管理表をチェックしながら声掛け誘導し、歩行困難な方には見守りしながら排泄のお手伝いをdしています。	前回指摘のあったトイレの蓋の修繕もおこない、安全と快適さが増えています。パットは一括購入し、一人ひとりにあった大きさ、種類をセレクトして提供しています。「下剤に頼りたくない」と飲むヨーグルトや牛乳は便秘対策に反映して、薬が減っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便困難な方には朝に牛乳を飲んで頂き、朝食後にトイレ誘導したり、腹圧のかかる体操等の実践を心掛けてます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	洋服の着脱、身体の洗い等、自分で出来る事は進んでやって頂き、最後までやりきる事に自信を持ってもらうよう支援しています。	2日に1度確実な入浴が実現するよう、脱衣所の壁に小さなホワイトボードを掲げ、大きなドロップのついた磁石で分かり易く示しています。総体として物の置く場所が明確で脱いだ衣類を入れる籠の場所も決まっており、利用者本人への自立支援があることが覗えます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思を尊重し、休みたい時は無理せず、テレビや昼寝等見守りしながら支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬シートのチェック、身体の状況を把握してドクター、薬剤師さんと常に連絡をとり検討しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の能力に合わせ、お手伝いなどして頂き「自分はまだ必要とされている」と言う気持ちでいられるような言葉掛けに努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季に合わせ、お花見、紅葉狩り等外出しませず、お天気の良い時はお庭に出て散歩しませず、なるべく多くの方が外出できる様、ご家族に協力をお願いしています。	「月1回程度は季節に合わせた外出支援をしたい」としていますが、好天日の散歩と4月の桜、5月菖蒲・藤、6月紫陽花、11月紅葉のお出かけに留まっています。「あれ欲しい」に応じて買い物外出も時にはありますが、現状は「身体状態のよい人がでかけることができている」状況にあります。	身体状態や家族のあるなしで差がでないよう、例えば誕生日月に個別外出企画など検討を期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金の必要性を理解したうえで希望に応じて使えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の意思を尊重し、希望、要望に応じて、やり取りが出来る様に支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全かつ快適に過ごせるよう、配置、飾りつけを工夫して居心地良く過ごせるよう努めています。	1階に2ユニットで開放的な造りで、また整理・整頓、清潔さと換気が行き渡り、過ごしやすい共用空間です。「此处はこれでいいかな」「あそこに移動したほう～」といった試行錯誤があったと想像される配置です。前回上部に並んでいた物品を一掃して、リスクマネジメントへの工夫もあります。	壁に利用者作品掲示がたくさんありますが、四季に合わせて「今の季節の掲示」での張り替えがあるよう期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー、居室は施錠せず、出入り自由に解放感を出し、孤立する事のない様に会話には職員も関わる注意をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には移動空間を確保して植物やテレビを置いたりと自由に過ごせる空間を工夫している。	ピンク系に統一してデコレーションしたスペースが構築されていたり、カーテンが雰囲気に合わせて設えてあるなど、家族の愛情が伝わります。また書を嗜んだ人は掛け軸にして掲げたり、ラジオを枕の傍らに備えて大好きな歌を愉しむ居室もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の能力、機能を把握し安全な環境で自立した生活が送れるよう努めています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200759		
法人名	有限会社 花音		
事業所名	グループホーム 花音(Bユニット)		
所在地	静岡県静岡市葵区水道町126-1		
自己評価作成日	平成28年10月18日	評価結果市町村受理日	平成28年12月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JiryoNoCd=2294200759-008&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年11月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の日課の運動を欠かさず無理なく取り入れ、認知症の進行、運動機能低下を防ぐ支援を家族的立場から見守り支援し、過ごしやすい生活環境であり、外部より出入りしやすく明るく丁寧な職員、施設であることを強調しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1階に2ユニットが並ぶ開放的な造りの事業所です。午前・午後とおこなう体操では事業所前の駐車場で取組むこともあって、壮健さが滲みます。整理・整頓、清潔さと換気が行き渡り、過ごしやすく、「此处はこれでいいかな」「あそこに移動したほうが使い易い」という試行錯誤があったと想像される配置がみられます。リスクマネジメントに努め、例えば前回上部に置いてあった物品は一掃しており、また配役ボックスを手作りして管理者が日付を手書き作業し、錠剤が不用意に落ちないように両面テープで留めての誤薬予防も丁寧に取組んでいます。昨年度の外部評価での課題はほぼ解決し、向上意欲のある事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場合やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は施設の理念を理解していますが、前回指摘の「どこを目指しているのか」の問いには会社の就労環境改善、方向性が見えない為、「こうしたい、こうありたい」と目標設定ができないでいます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	シニアサポーター発足からイベント時に芸等を披露して頂けるボランティアの方が増え、外部との交流が多くなっています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	シニアサポーターや地域の方の来所を通じて事業所の実践を伝え認知症の理解を得ています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内との連携も含め、打診をしていますが、出席頂くまでにはご理解が得られない状況が続いています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の議事録を提出して、ケアサービスの取り組みを伝えています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束しないケアに取り組んでいますが、必要に応じ書面を作成し家族に同意をえています、一時性を重視して継続しないように考えています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設では利用者様の尊厳を大切にすることをモットーに徹底した介護をしています、職員間で切磋琢磨してスキルアップを目指し、利用者様と信頼関係をより深める努力をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部講習の機会が少なく、職員のスキルアップの為に勉強できる環境作りの努力が必要と考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を通して必要な説明を丁寧に行い、ご理解頂けるように心がけています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には毎回同じにならず出席して頂いている、都度意見があり運営に反映させて頂いていあす。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見や提案が迅速に反映されない為、発言が消極的になっています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績の判断としての評価基準がないので定期的に面談等の希望がありますが、実行はされていません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員に対して定期的面談やメンタルケアの必要性があると考えます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近況では同業者との交流の機会がなく、職員間ではネットワーク作りの希望、必要性と考えています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困り事、不安を取り除く対応、対策を考え、初期より導入することにより信頼関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等の困り事、不安を取り除く対応、対策を考え、初期より導入することにより信頼関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の面談から必要支援に気づき、対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常にコミュニケーションをとり一方的立場にならないように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族は共に情報共有し、より良い関係作りに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との関係が途切れないよう、面会時の対応には気配りがかかさないよう努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で共通できる会話やゲームを通して全員が参加できる環境に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループとしての対応力を伝え、関係性が途絶えず支援できるよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位を常に視野に入れ思いが希望に沿えるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人に関係する馴染みの人からの情報を含め、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の一日の生活内容を記録して変化に対応できるよう職員同士で把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員のモニタリングと日々やミーティング時のカンファレンスの内容を反映して介護計画に役立っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化(顔色、顔つき、表情、言葉、行動)を見落とさず記録し職員間で共有して実践や介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	普段より状況に応じた対応の多機能化に取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々の地域資源を把握し、豊かな暮らしに活かせるよう支援に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族希望のかかりつけ医との信頼関係を大事にし、納得できる支援をしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1の訪問看護師には適切な対処ができるように、日々の変化を気づき情報を伝え支援に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医療機関とは常に情報共有して経過、退院後の支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	外部かかりつけ医の利用者でも看取り終末期にむけ施設提携医に変更し家族が安心できる体制支援に努めています、現状は外部受診医では看取りは行わない為、提携につなげていく支援に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	1～2年1度は消防署に協力をお願いしてAED講習等の訓練を行いスキルアップに努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	水害時の避難対策の構築を緊急措置し訓練により職員による対策を身につけるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常の支援の中で利用者様が不快感や羞恥心を感じないように声掛けや援助をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が勝手に物事を進めるのではなく、会話を通して利用者様自身で決められるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の状態や希望に応じてレクを行ったり、居室休息をして頂いたりしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の身だしなみや入浴時の着替えなども利用者と一緒に用意出来る様に支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ケイタリングの他、手作り調理を欠かせない様につとめています、食器拭きの片づけのお手伝いなど出来る事をお願いしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は個々の体型、運動量を考慮してだしています、水分量は1日1000cc以上を目標に回数を多くして出しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員が付添い口腔内、義歯、舌の汚れを確認しながら清潔保持に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄管理表をチェックしながら声掛け誘導し、歩行困難な方には見守りしながら排泄のお手伝いをdしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便困難な方には朝に牛乳を飲んで頂き、朝食後にトイレ誘導したり、腹圧のかかる体操等の実践を心掛けてます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	洋服の着脱、身体の洗い等、自分で出来る事は進んでやって頂き、最後までやりきる事に自信を持ってもらうよう支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思を尊重し、休みたい時は無理せず、テレビや昼寝等見守りしながら支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬シートのチェック、身体の状況を把握してドクター、薬剤師さんと常に連絡をとり検討しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の能力に合わせ、お手伝いなどして頂き「自分はまだ必要とされている」と言う気持ちでいられるような言葉掛けに努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季に合わせて、お花見、紅葉狩り等外出しませず、お天気の良い時はお庭に出て散策しませず、なるべく多くの方が外出できる様、ご家族に協力をお願いしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金の必要性を理解したうえで希望に応じて使えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の意思を尊重し、希望、要望に応じて、やり取りが出来る様に支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全かつ快適に過ごせるよう、配置、飾りつけを工夫して居心地良く過ごせるよう努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー、居室は施錠せず、出入り自由に解放感を出し、孤立する事のない様に会話には職員も関わる注意をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には移動空間を確保して植物やテレビを置いたり自由に過ごせる空間を工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の能力、機能を把握し安全な環境で自立した生活が送れるよう努めています。		